

第 42 回 日本気象学会九州支部発表会 プログラム

日時:2021 年 3 月 7 日(日) 9 時 30 分～16 時 55 分

Zoom によるオンライン開催

Zoom 接続開始(09:00)

開会 (09:30)

開会の挨拶 (09:30)

講演 (各項目とも講演15分、質疑応答5分 *は発表者) 要旨集ページ

セッション1 降水システム (09:40～10:20)

1. GPM主衛星搭載二周波降水レーダDPRプロダクト(V06X)の検証
—暖候期の雷を伴う降雨事例— ----- 1
*鈴木賢士(山口大学院創成)、小田哲路(山口大学農)、
竈本倫平(鉄道総合技術研究所)、中川勝広(情報通信研究機構)
2. 2019年5月18日に発生した屋久島の大雨に関する研究 その2
—屋久島で大雨となった要因を主に観測データから探る— ----- 3
*用具敏郎(鹿児島地方気象台)

セッション2 気候システム (10:20～11:00)

3. 気団解析による東アジア気候の実態把握 ----- 5
*島袋琉(熊本大学理)、富田智彦(熊本大学院)
4. 熱帯夏季季節内振動を介したエルニーニョ/南方振動の梅雨前線活動への影響 ----- 7
*田川雄大(熊本大学理)、富田智彦(熊本大学院)

休憩 (5分)

セッション3 中層大気・オゾン (11:05～11:45)

5. 2020年の南極オゾンホールについて ----- 9
*佐竹陸(九州大学理)、廣岡俊彦(九州大学院理)
6. 2019/2020年冬季の極渦発達の力学過程について ----- 11
*松山裕矢・廣岡俊彦(九州大学院理)、向川均(京都大学院理)

昼休憩 (13時まで)

※支部奨励賞は該当者なし

特別講演 (13:00~13:50) 近未来の気候変動や異常気象の理解と予測に向けた取り組み
望月 崇 (九州大学 理学研究院 地球惑星科学部門 准教授)

休憩 (5分)

ジュニアセッション (13:55~15:15)

(講演 15 分、質疑応答 5 分 氏名の後の括弧内数字は学年)

- J1. 火星極冠の消長 3 ~ダストストームは大気を温めるのか~
熊本県立第一高等学校 (熊本市)
(地学部) 井上溪(2)、網中響(2)、烏川智基(2)、高木由穂(2)、安田菜々美(2)、
田中悠貴(2)、茂幾理生(1)、三宅杏佳(1)、三角眞子(1)、高嶋桃羽(1)、岡田和歩(1)
- J2. 夜光雲の発生傾向 ~人工夜光雲と自然夜光雲の比較~
鹿児島玉龍高等学校 (鹿児島市)
(サイエンス部天文班) 藤井柚香 (2)、瀬戸口柚妃 (2)、田島晴香 (2)
- J3. えっ、島が浮いてる！？ ~浮島現象の研究 2~
熊本県立宇土高等学校 (宇土市)
岩崎議弘 (2)、清村健一郎 (2)、坂本尚仁 (2)、中嶋和史 (2)、水野海翔 (2)、
和田慎平 (2)
- J4. 知らない現象 (不知火現象) を科学する 3
熊本県立宇土高等学校 (宇土市)
岩崎議弘 (2)、清村健一郎 (2)、坂本尚仁 (2)、秦敬一朗 (1)、松尾典明 (1)、
柳田眞太朗 (1)、新宅結衣 (1)

休憩 (5分)

セッション4 降水システム (続き)・台風・低気圧 (15:20~16:40)

7. 下層水蒸気量変化に対する梅雨前線帯低気圧の応答 ----- 13
* 岩下将也・川野哲也・川村隆一・望月崇 (九州大学院理)
8. 2018年7月豪雨期間中の中国地方の大雨形成に対するメソ渦の寄与 ----- 15
* 蓑添良輔・川野哲也・川村隆一・望月崇 (九州大学院理)
9. 2021年1月における大雪時の爆弾低気圧とJPCZ:長白山系の影響評価 ----- 17
* 鈴木雄斗・川村隆一・川野哲也・望月崇 (九州大学院理)
10. 台風ポーガスをを用いた7月気候場シミュレーションによる台風の遠隔影響 ----- 19
* 吉田尚起 (九州大学理)、川村隆一・川野哲也・望月崇 (九州大学院理)、

飯塚聡（防災科学技術研究所）

講評及び閉会の挨拶（16:40）

閉会（16:55）

※講演要旨集に掲載された文章及び図表の著作権は(公社)日本気象学会 九州支部に帰属します